

児童委員・主任児童委員活動事例① 「ハッピーベビープロジェクト ピヨピヨ」(静岡県静岡市安西地区)

■ 静岡県静岡市の主要データ

基礎データ (平成31年1月現在)	人口:694,643人 世帯数:292,883世帯 学校数:公立小学校87校、公立中学校43校
児童委員・主任 児童委員の数	児童委員:定数1,067人／委嘱者数1,045人 主任児童委員:定数122人／委嘱者数122人



■ 取組(活動) 概要

各町会より、赤ちゃん誕生の連絡を受け、学区内で子どもが生まれた家庭を主任児童委員と地区社協の広報、児童委員が訪問しお祝いしている。
地区社協からの助成を受け、手作りのお祝いカード、QUOBOOKカード、絵本紹介冊子、主任児童委員の連絡先、子育てサロンひよこの案内を手渡し、記念写真を撮っている。写真ができると再度訪問することとしている。

■ 取組(活動)の主催団体

安西地区社会福祉推進協議会

■ 主な実施場所

安西地区(12町内)

■ 連携・協力機関等

安西地区自治会連合会、(予定:社会福祉法人 静岡厚生会)

■ 児童委員・主任児童委員の役割、関わり

各町内会へチラシの回覧を依頼し、情報をまとめる。お祝いカード等を準備し、訪問先と連絡を取り、日時等の打合せを行う。訪問した際には、子育てサロンひよこにお誘いする。

■ 取組(活動) のきっかけ、経緯

DV、子どもへの虐待・貧困などが社会課題になる中、地域の子どもの所在などについては守秘義務によりなかなか知ることができなかった。主任児童委員が地区社協発足時より役員であったことから、役員会において赤ちゃん訪問時のお祝いの助成金について提案し、1年かけて実現した。

■ 取組(活動) のポイント、留意点

家庭の都合や子どもの体調に合わせて訪問日を決定する。地区社協には、学区の全世帯が加入しており、地域の方々が赤ちゃんの誕生をお祝いしている旨を伝える。何でも相談にのることを伝えながら、主任児童委員の連絡先を伝える。児童委員と一緒に時は全員笑顔で紹介する。

■ 取組(活動) による効果

町内会から「生まれたよ!」と声かけていただくなど、各機関と協力し合うことができた。訪問先の家庭では安心して迎え入れていただき、子どもたちから力をもらうとともに、地域の絆を強く感じる事ができた。

■ 今後の展望・課題

小学校の就学時健康診断に参加し、2〜3分で自分たちの活動など説明する機会としている。再び、お母さんたちに会うことが楽しみにもなっている。区内に周知するため、訪問した際の記念写真を地域の施設等に展示したいと考えている。